



【 現地・オンライン記者発表会のご案内 】

「男性育休白書 2026」 発表会

～ 「男性の家事・育児力」 都道府県別全国ランキングを発表 ～

男性育休取得率、初の 50%超え その先に見えてきた**変化と課題**

女性の 7 割以上が “見えない家事・育児” に負担を感じる

「心のワンオペ」の実態と夫婦のコミュニケーションの可能性とは

日 時 : 2026 年 9 月 17 日 (木) 10:00～11:30 (受付/オンライン接続開始 9:45～)

形 式 : ハイブリッド形式 (Zoom ウェビナー)

会 場 : 梅田スカイビル タワーイースト 9 階 カンファレンスルーム
(大阪市北区大淀中 1 丁目 1-88)

登壇者 : 積水ハウス株式会社 執行役員 ESG 経営推進本部長 山田 実和
積水ハウス株式会社 ダイバーシティ推進部長 横山 亜由美
厚生労働省 雇用環境・均等局 職業生活両立課長 上田 真由美様
賛同企業 ご担当者様 (2 社登壇予定)

積水ハウス株式会社は 2019 年より、男性の育休取得をよりよい社会づくりのきっかけとしたい、との思いから、9 月 19 日を「育休を考える日」として記念日に制定し、様々な立場の方と共に、男性育休を考えるプロジェクト「IKUKYU. PJT」を実施しております。

男性の育児休業取得率は、厚生労働省の最新調査で 50.9%と過去最高を更新しました。男性育休は、「取得するかどうか」の議論から、取得を前提に、その意義や質を考える段階へと移りつつあります。こうしたポジティブな変化は家庭だけでなく、職場においても、休暇を取りやすい風土や、生産性向上への意識など、さまざまな好影響をもたらしていると考えます。

一方で、男性育休の広がりによって、新たな課題も見えてきました。今回の「男性育休白書 2026」の調査では、女性の 7 割以上が家族の予定管理や段取り、気配りなどの“見えない家事・育児”に負担を感じているといった実態が明らかに。こうした負担や悩みを一人で抱え込み、精神的に孤立してしまう「心のワンオペ」は、取得率の向上だけでは解消できない課題であることが分かりました。

今回の発表会では、厚生労働省 雇用環境・均等局の上田様による「共育 (トモイク) プロジェクト」のご紹介や賛同企業から取り組み事例を通して、男性育休の推進が社会にもたらした変化を振り返ります。さらに、「男性育休白書 2026」の調査結果から見えてきた課題をひもときながら、より良い育休期間とその後の日常につなげるヒントとして、夫婦間コミュニケーションの可能性について考えます。

大変ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、何卒ご参加賜りますようご案内申し上げます。
参加ご希望の方は、**9 月 15 日 (火) 17:00 までに申し込みフォームにご入力ください。**

*2026 年 7 月 31 日公表の厚労省「令和 7 年度雇用均等基本調査」より
https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r07/05.pdf?utm_source=chatgpt.com

■実施内容

内容	登壇者
主催者挨拶	積水ハウス 執行役員 ESG経営推進本部長 山田 実和
「共育（トモイク）プロジェクト」について	厚生労働省 雇用環境・均等局 職業生活両立課長 上田 真由美様
●積水ハウスの取り組みご紹介 ●「男性育休白書 2026」TOPICS ・「男性の家事・育児力」都道府県別全国ランキング発表	積水ハウス ダイバーシティ推進部長 横山 亜由美
賛同企業 取り組み事例紹介	賛同企業 ご担当者様（2 社登壇予定）
質疑応答	積水ハウス ダイバーシティ推進部長 横山 亜由美

※各登壇者への取材が対応可能です。ご希望の方は申し込みフォームにご質問内容をご記載ください。
※オンライン参加のお申込みをいただいた皆様には、開催前日までに視聴 URL をメールにてご連絡いたします。
※実施内容は暫定となり、変更が生じる場合がございます。

【申込フォーム】

「男性育休白書 2026」発表会

日 時：2026 年 9 月 17 日（木）10:00～11:30（受付/オンライン接続受付開始 9:45～）

誠にお手数ではございますが、**9 月 15 日（火）17:00 までに**

下記の出席登録フォームに必要事項をご記入の上、ご登録ください

<https://forms.cloud.microsoft/r/zu087pSegL>



【本件に関するお問い合わせ先】
積水ハウス株式会社広報室（担当：原田・磯見）
TEL 080-2263-8487（原田）/ 070-7822-8769（磯見）
E-mail info-ir@qz.sekisuihouse.co.jp